

第 136 回八大学工学関連研究科長等会議 議事録

日 時 平成 30 年 9 月 28 日（金）13:30～17:00

場 所 ホテルメルパルク大阪 5 階「カナーレ」

出席者 八大学工学系連合会会員等 69 名（研究科長等、副研究科長等、運営委員、陪席者、オブザーバー）、出席者名簿参照

議 題

1. 報告事項

- (1) 前回議事録確認
- (2) 平成 30 年度上半期活動報告
- (3) Asian Engineering Deans' Summit (AEDS2018) 開催報告
- (4) 豪州 Group of Eight (Go8)との連携について
- (5) 第 6 回日英工学教育ワークショップの実施報告

2. 協議事項

- (1) 平成 30 年度博士フォーラムの実施計画について
- (2) JIRA・8UEA 連携事業の推進について
- (3) 就活問題への対応分科会の推進について

3. 講演会

講演 I 大阪大学工学研究科コマツみらい建機協働研究所長 大須賀公一氏

講演 II 大阪大学工学研究科 Hitz 協働研究所長 中澤慶久氏

講演 III 文部科学省高等教育局専門教育課企画官 寺坂公祐氏

4. その他

- (1) 今後の予定について

配布資料一覧

資料1 第 135 回八大学工学関連研究科長等会議議事録(案)

資料2 平成 30 年度上半期活動報告

(別紙 1) 平成 30 年度第 1 回運営委員会議事録(案)

(別紙 2) 平成 30 年度・運営員会・分科会体制

資料3 Asian Engineering Deans' Summit (AEDS2018) 開催報告(東工大・東大)

資料4 豪州 Group of Eight (Go8)との連携について (北大)

資料5 The 6th UK-Japan Engineering Education League Workshop (九大・東工大)

資料6 平成 30 年度博士フォーラム実施計画 (東大)

資料7 JRIA との連携の推進について (分科会)

資料8 就活問題への対応分科会の進め方について (分科会)

資料9 八大学工学系連合会の会長校・幹事校について (参考)

講演Ⅰ 資料 大阪大学工学研究科の産学連携～共同研究講座・協働研究所
講演Ⅱ 資料 大阪大学工学研究科の産学連携～共同研究講座・協働研究所
講演Ⅲ 資料 工学系教育改革について（高等教育局専門教育課）
参考資料 卓越研究員事業（文部科学省、(独)日本学術振興会）

議 事 要 旨

開会の辞

水谷会長から開会の挨拶があった。

幹事校代表者挨拶

今回の幹事校である大阪大学大学院工学研究科長の田中研究科長から挨拶があった。

議長選出

定款施行催促第4条第4項に従って幹事校代表者の田中大阪大学大学院工学研究科長を議長に選出した。

日程説明及び配布資料確認

石原事務局長から、会議日程の説明及び配布資料の確認があった。

議 事

1. 報告事項

(1) 前回議事録確認（資料1）

資料1により、今春4月20日に東京にて開催した第135回八大学工学関連研究科長等会議議事録（案）を確認の上、承認した。

(2) 平成29年度上半期活動報告（資料2）

水谷会長から資料2に基づき、春の常設会議以降の活動内容について報告があった。活動項目として、昨年度の八大学からの提言の公表とそのフォローアップ、第1回運営委員会の開催、第6回JRIAとの意見交換会の開催、並びに国際交流活動としてワークショップやミーティングの開催が報告された。また、別紙1の7月20日開催の第1回運営委員会の議事録（案）、別紙2の運営委員会の委員名簿と分科会担当表に基づき、平成30年度は、H29提言フォロー、博士フォーラム、就活問題への対応の3つの分科会活動をこの分科会体制で推進することが報告された。

(1) Asian Engineering Deans' Summit (AEDS2018) 開催報告（資料3）

東工大・和田先生より資料3を使って5月21日～23日に東工大・大岡山にて開催した「Asian Engineering Deans' Summit (AEDS2018)」の実施報告があった。アジア、豪州と国内から32大学、74名の参加があり、工学教育をテーマに活発な議論が行われたことが報告された。次回は台湾で開催される（日程未定）予定である。

(4) 豪州 Group of Eight (Go8)との連携について (資料 4)

北大・五十嵐先生から資料 4 を使って「Go8 との連携」についての状況報告があった。前項報告の AEDS2018 の最終日の夕刻を利用して、「Go8-8UEA 連携キックオフミーティング」を開催し、そこで各八大学に実施したアンケートの結果が報告された。また、その後、日本工学アカデミーとの連携を模索していることが報告された。引き続き北大に世話係をお願いして検討を継続することとした。

(5) 第 6 回日英工学教育ワークショップの実施報告 (資料 5)

東工大・岩附先生から簡単な背景説明の後、九大・久枝先生から資料 5 を使って 9 月 3 日～5 日に九州で開催した第 6 回日英工学教育ワークショップの開催報告があった。日英両国から教員、学生合わせて 79 名の参加があり、学生のショットガン発表・ポスター発表、招待講演と教員ディスカッション、見学会が実施され、活発な議論があった事が報告された。次回は、来年 9 月上旬に Queen Mary University London で開催される。

2. 協議事項

(1) 平成 30 年度博士フォーラムの実施計画について (資料 6)

東大・大久保先生より資料 6 を使って平成 30 年度博士フォーラム実施計画の説明があった。今年は 10 月 12 日に東大・本郷キャンパスにおいて、学生から「博士課程へ進学した理由」や「博士課程へ進学しない理由」等の話題提供をしてもらって議論することとしており、例年より早い時期の開催であるところから既に各校からの参加者の登録は完了していることが報告された。

(2) JIRA-8UEA 連携事業の推進について (資料 7)

まず、田中議長より、昨年の八大学提言「高度工学系人材育成への企業の参画と支援」に対して、研究産業・産業技術振興協会 (JRIA) より「産業界にとっても重要な提言なので連携して提言フォロー活動をやりたい」との提案があり、これを受けて、7 月の第 1 回運営委員会において今年の提言分科会テーマとして「JRIA と連携した前年度提言のフォローアップ」を取り上げることとした旨の経緯説明があった。続いて分科会主査を務める名大・宮崎先生より資料 7 に基づいて、連携のスタンス、これまでの JRIA との意見交換の状況、分科会の今後の作業予定などの説明があり、オブザーバー参加頂いた JRIA 獅山専務理事よりコメントがあった。これらを受けて研究科長等会議として本連携事業の推進を承認することとした。

(3) 就活問題への対応分科会の推進について (資料 8)

今年度の新たな分科会テーマとして取り上げた「就活問題への対応」について、主査を担当する名大・瓜谷先生から資料 8 を使って説明があった。分科会テーマとして取り上げた経緯と理由、分科会としての活動方針、検討事項の取りまとめ結果、アクション案などが説明され、検討時期に経団連会長発言があったことでとてもホットなテーマとなったとの報告があった。テーマ自体が複雑で難しい問題であることから現時点で活動の

方向は多様であり、連合会として議論を続けることとした。また、午前の工学部長会議において八大学として工学系大学院に焦点を絞って教育現場の状況に関係者に周知するシンポジウムの開催が提案されたとの報告があり、これを進めることとした。

3. 講演会

- (1) 大阪大学工学研究科コマツみらい建機協働研究所の大須賀公一所長より、コマツ未来協働研究所の研究推進の考え方や研究活動の紹介があった。質疑は後の意見交換会にて行われた。
- (2) 大阪大学工学研究科 Hitz 協働研究所の中澤義久所長より Hitz 協働研究所の歴史、研究推進の考え方、研究内容の紹介があった。質疑は後の意見交換会にて行われた。
- (3) 文科省・高等教育局・専門教育課の寺坂公佑企画官から「工学系教育改革について」と題して現在の工学教育改革の施策に関する講演があった。質疑は後の意見交換会にて行われた。

4. 今後の予定について

- (1) 次回の常設会議について、幹事校の東工大・和田物質理工学院長より、平成 31 年 4 月 19 日（金）、KKR ホテル東京にて開催予定とのアナウンスがあった。
- (2) 次々回の常設会議について、幹事校の京大・大嶋工学研究科長より、来年 9 月 27 日（金）に京都ホテルオークラにて開催予定とのアナウンスがあった。

以上をもって第 136 回八大学工学関連研究科長等会議の終了を田中議長が宣言し、事務局長よりこの後 3 階に会場を移して情報交換会を開催される旨案内があった。

以上